

授業科目名	教育課程演習		担当教員名	美越 芳枝
必修/選択	必修(幼稚園教諭2種免許/保育士資格)	開講学年・学期	2年 後期(年間開講数 1講座)	
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	1単位(15時間)	
施行規則に定める科目区分等	教育の基礎理解に関する科目-教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。) 保育の内容・方法の理解に関する科目(別表1)	授業方法/担当形態	演習 / 単独	
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 保育所所長、保育士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。 ※「保育内容総論」の指導内容を含む	
授業の到達目標	<p>1-教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)</p> <p>(1)教育課程の意義:学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。</p> <p>①学習指導要領・幼稚園教育要領の性格及び位置付け並びに教育課程編成の目的を理解している。</p> <p>②学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂の変遷及び主な改訂内容並びにその社会的背景を理解している。</p> <p>③教育課程が社会において果たしている役割や機能を理解している。</p> <p>(2)教育課程の編成の方法:教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。</p> <p>①教育課程編成の基本原則を理解している。</p> <p>②教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を例示することができる。</p> <p>③単元・学期・学年をまたいだ長期的な視野から、また幼児、児童及び生徒や学校・地域の実態を踏まえて教育課程や指導計画を検討することの重要性を理解している。</p> <p>(3)カリキュラム・マネジメント:教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。</p> <p>①学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解している。</p> <p>②カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解している。</p> <p>2-保育内容総論</p> <p>(1)保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育の内容」の関連を理解する。</p> <p>(2)保育所保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。</p> <p>(3)子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史的変遷等を踏まえ、保育の内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)につなげて理解する。</p> <p>(4)保育の多様な展開について具体的に理解する。</p>			
授業の概要	・保育の基本を踏まえた保育内容を展開するために、指導計画編成上の留意事項を把握しながら、乳幼児の生活する姿をどのように捉え、保育内容を如何に展開し、また環境を構成していくか等の具体的な事例を取り上げ、グループ討議や演習により、保育計画や保育の実践等の手順を習得していく。また、今後の保育内容のあり方や保育者のあり方を追及していく。			
テキスト	<p>・改定版「保育内容の基礎と演習」柴崎正行編著(わかば社)</p> <p>・平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本(株式会社チャイルド本社)</p> <p>・幼稚園教育指導資料集第4集「一人一人に応じる指導」文部科学省</p>			
参考書・参考資料等	<p>・「幼稚園教育要領・保育所保育指針の変遷と幼保連携型認定こども園教育・保育要領の成立」民秋 言 編(明文書林)</p> <p>・「養護と教育が一体となった保育の言語化」社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国保育士会 発行</p> <p>・「ここがポイント! 3法令ガイドブック(平成29年告示対応)」無藤 隆、汐見稔幸、砂上史子 著(フレーベル館)</p> <p>・「育ての心 上・下」「幼稚園真諦」倉橋惣三著(フレーベル館)</p> <p>・その他授業中適宜紹介する。</p>			
成績評価の方法	<p>・内容の理解度:定期試験(筆記試験)50%+理解度確認(チェック)20%・学習への興味:関心・表現力等(レポート、指導案等も含む)15%</p> <p>・平常点(受講態度等):15%</p>			
授業計画	授業の内容	到達目標番号		
第1回	・オリエンテーション ・現在の子育て支援「子ども・子育て支援新制度」について ・第1章 保育の基本と保育内容	1-(1)-①,②,③		
第2回	1.保育の基本とその特性 2.保育の構造と保育 *課題演習	1-(2)-①,②,③		
第3回	・第2章 保育内容の歴史的変遷 1. 保育内容の基準と編成 2. 保育内容(領域)の変遷 3. 課題演習と学習成果の討議とその発表	1-(2),(3)		
第4回	・第3章 子ども理解と保育内容 1. 子どもの何を理解するのか 2. 生活の理解と保育内容 3. 集団行動と保育内容 4. 保育記録と保育内容	2-(1),(2)		
第5回	・第4章 保育実践と保育内容 1. 子どもの発達と保育内容 2. 保育環境の構成と保育内容 3. 具体的な援助と保育内容 4. 指導計画と保育内容 5. 保育実践の評価と保育内容	2-(3)		
第6回	・第4章 保育実践と保育内容の課題演習と課題演習についてのグループ討議・発表	2-(1),(2),(3),(4)		
第7回	・第5章 保育実践の多様な展開 1. 乳児保育と保育内容 2. 長時間保育と保育内容 3. 特別支援時の保育と保育内容 4. 多文化共生と保育内容 5. 幼保小連携と保育内容	2-(4)		
第8回	・まとめ 質疑応答 ・DVD視聴	1,2		
定期試験	筆記試験			